



## 「夏を制する者は、〇〇を制す」



上記の「〇〇」には、どんな言葉が入ると思いますか？ この紙面の性格上、「受験」という答えに絞って話を進めたいところですが、答えは一つに限らず、今、皆さんが打ち込んでいるもの、それらが全て正解になってくると思います。「夏休み」とも言うように、他の人が「休んでいる時」に、どれだけ頑張ることができたかで、差がつきます。部活動にしても、全体練習だけではなく、どれだけ自主的な練習で技術を磨いたかが重要であり、普段の学習でも、学校の授業だけではなく、どれだけ家庭での自主的な学習で知識の定着を図ったか、それが実力の差になります。そうです。「休み」は、人によって、好機でもあり、危機でもあるのです。

ところで、昔話の「ウサギとカメ」のカメさんの勝因は、どこにあったと思いますか？ これまた、昔話の「十二支の順番を決める競走」で、なぜ牛さんが2位に入ることができたと思いますか？ 端的に言えば、カメさんはウサギさんが休んでいる時に努力をし続けたからであり、ウシさんは他の動物たちよりも早くスタートしたからだと思えます。カメさんにしてもウシさんにしても、「自分には実力がない」だからこそ、他の人が休んでいる時に、そして、他の人よりちょっとでも早くという、良い意味での劣等感を持っていたのだと思えます。実際、大手予備校の浪人生に「失敗した理由は？」と聞いたところ、「勉強の開始が遅れた」との答えが一番多かったそうです。ところで、あなた自身は、ウサギさんでしょうか。それとも、カメさんでしょうか。もし、自分のことをカメさんだと思ふのなら、この夏にすることは、もう分かっていますね。この夏の攻略法を教えます。

### ① Goal(=志望校)を設定する

まずは、到達点(目標)を明確にしましょう。せっかく走り始めても、その方向が逆であったなら、(豊富な経験を積むことはできませんが)限られた時間の中でゴール(≡合格)することはできません。しかし、目指すべき方角(≡興味・関心)や距離(≡難易度)は個人によって違います。よって、1・2年生は、目指すべき方角を定めるため、この夏、「〇〇体験」なるものに積極的に参加し、将来の職業を疑似体験することを通して、自らの志向性を確認してみましょう。そして、その職業を実現できる学問・専攻を探し出すためにオープンキャンパスに参加してみましょう(『進路の手引き』p73・75「参加報告書」を活用)。志望校が固まっていなくとも構いません。大学で、模擬講義に参加したり、研究室を見学したりすることで、学部・学科探究にもつながります。一方、3年生はもっとシビアに、ゴールと自分との距離を測りましょう。一般に、距離が遠い順から「チャレンジ校」「志望校」「安全校」の3つのゴールを設定すべきと言われていますが、時間に制限がない(=浪人 OK)のなら「チャレンジ校」に拘るといっ一択でもいいのかもかもしれませんが、その辺は家族会議の議題として提案して下さい。本来なら、2年生までに受験校は家族会議での決裁を得ている(そう、あってほしい)とは思いますが、モチベーションを高める目的で、あらためてオープンキャンパスに参加してみるのもいいでしょう。

月間学習計画



年間学習計画



### ② Plan(=学習計画)を立てる

さて、次はゴールまでのプロセスを考えてみましょう。あなたは現時点で、志望校との間にどれだけの距離がありますか？ マラソンに喩えて( )km/42.195kmと表すとしたなら、( )の中にどんな数字が入りますか？ そして、(距離)÷(時間[残された高校生活の月数])ではじき出された今の「ペース」で、制限時間内にゴールすることは可能でしょうか？ ちょっと、考えてみて下さい。ここで言う「ペース」とは、「学習の密度」のことです。この計算式も個人によって大きく異なるでしょうから、自分なりの学習計画を立てることが大切です。学習計画は、まず長期的計画を作成し、それを短期的計画に落とし込んでいくことがポイントです。計画を立てるメリットとして、①見える化することでやるべきことが明確になる(ある意味「ノルマ」)。②継続することで達成感が得られる。そして、③いつの間にか学習が習慣化するなどが挙げられます。右上のQRコードからExcelファイルをダウンロードして活用してみてください。目指せ！計画魔！



### ③ ひたすら、Run(=実践)

もう、スタートの合図は切られています。今、あなたはどの地点にいますか？ あとは、ひたすら走り続けるだけです。受験には、体力と気力のスタミナも必要です。時にはエイドステーション(休憩所)に立ち寄り、身体と心の栄養を摂取することも大切でしょう。この夏が、あなたの高校生活にとって「Turning point(分岐点)」となることを祈っています。

# 共通テストまで、あと191日！ (2024年7月10日～2025年1月18日)

1970年代の人気アニメ『宇宙戦艦ヤマト』のエンдрールでは、毎回、「地球滅亡まで、あとXX日」とのテロップがありました。3年生にとっては、地球滅亡ではないにしても、人生を大きく左右する一大イベントのカウントダウンが始まっていると感じている人が多いのではないかと思います。そこで、今後の学習方法や進路探究のあり方についてまとめてみました。

## ① 基礎の大切さをあらためて意識し、基礎固めの最後に季節にする

大学入試センターが実施する共通テストは、教科書の内容を逸脱しないことが基本となっており、6割程度の得点をとることができれば、国公立大学や私立大学の選択肢も広がってきます。裾野の広がりがなくて山を積み上げていくことができないのと同じように、基礎固めなくして応用問題に飛びついても高い結果には結びついてきません。とは言え、秋になっても英単語帳を開いているようでは遅すぎます。英語や古典の語彙や文法などの基本は、この夏までに終わらせておきましょう。

## ② 学習のバランスを考えるとともに、理・社への移行を始める

得意科目があることで傾斜配点を活かせるという観点から得意科目を伸ばすことが大切。一方、苦手科目は伸びしろが大きいという観点から苦手科目を克服することが大切。勿論、どちらも大切なのですが、時間の制約を考えれば、志望校の配点を念頭に置いて取り組むのがベターでしょう。その際、志望校は1校に絞らず、最大公約数的な考え方で学習時間の配分を考えましょう。また、入試の配点を考えるなら、そろそろ理科や地歴公民の復習に取り組みはじめることも併せて大事です。

## ③ 模擬試験の問題を丁寧に解き直し、同じミスは繰り返さない

模試の結果によって、全国レベルを痛感するだけでなく、弱点を見つけ、その対策をすることが受験勉強です。自己採点をして自分の穴が分かっている、その穴を埋めなければ、いずれまたその穴にはまることでしょう。「解答」を見て得点をつけるのが自己採点ではなく、「解説」をじっくり読んで解き直し、次は誤答にならないよう類問を繰り返し解くことを、自己採点と呼ぶのです。

## ④ 入試の過去問題を分析し、傾向と対策を練る

スポーツ競技でも対戦相手の分析が勝敗を分けます。受験の相手は大学側の入試問題です。メンバー(作問者)はほぼ同じなわけですから、当然、似通った攻撃(≡問題)が繰り返されることでしょう。よって、過去の入試問題の分析こそ勝利の方程式となります。ただ、学校全体としては、概して共通テストに焦点を当てて受験対策を行うことになりますから、国公立大学や私立大学の個別試験については、自分で主体的に対策を練ることになります。進路室には、各大学の過去問題集「赤本」(1・2年生も利用可)が数年分揃っています。最新刊以外は1週間の貸出が可能です。共通テスト後、個別試験までの時間は、10日から30日といったところでしょうか。よって、この夏休みに目を通してその傾向を知っておくと、共通テスト後も焦ることなく、また、今後の授業を受ける姿勢も個別試験を意識することで、大きく変わってくるのではないかと思います。一方、学校推薦型や総合型入試については、本校の卒業生が進路室に残していった「受験報告書」が極めて示唆に富んでいます。進路室への来室を、お待ちしております。

### 「古い赤本」無料配布会

日時：7月29日(月) [雨天延期]

12:40～13:00

対象：熱い思いを持った3年生

場所：生徒昇降口前の広場

配布物：2019年版の「赤本」等問題集

## ⑤ 受験はあくまで私事。自ら最新の入試情報を入手する

先生方は全力で皆さんのサポートをしますが、プレイヤーは皆さん自身で、対戦相手を選ぶのも、戦略を立てるのも、問題と格闘するのも、皆さんが主体的に行うものです。まずは、募集要項を入手しましょう。今、ちょうど公表になっている時期です。複数の目で確認できるよう紙ベースの冊子を手に入れることをお奨めしますが、Web上からダウンロードした場合は印刷しておきましょう。科目や配点は必ず(民間の出版物やWebサイトではなく)募集要項そのもので確認し、複数の出願パターンを考えておきましょう。

# 高校最後の夏を、あなたの人生にとって「特別な夏」にしよう！



[6/8(土)に行われた第3学年保護者会での河合塾の高橋章氏による進路講演会から]

①現役生は入試直前の1・2月に急激に伸びる。②目標を下げるとモチベーションも下がり学習量が一気に低下する。  
③苦しいのは自分だけではない。最も苦しい11月を乗り切ればゴールは見えてくる。そして何よりも、④不安や孤独に耐えながら、自分に鞭打って、必死に努力し続け、打開する力を身につける経験は、社会を生き抜いていく大切な力になる。そして、たとえそのプロセスに結果が結びつかなくとも、挫折した経験自体が大きな意味を持つ。それこそが、受験勉強の意義だ。「安易な妥協は一生後悔するぞ!! 若者よ、ちょっと無理をしてみよう!」と強く語ってらっしゃいました。